

科學的芽生えを重んずる遊び のいろいろ (二)

東京市文海幼稚園長 岩 松 多 吉

(六)影によるもの

種目	取 扱 ひ の 中 心	備 考
影ふみ	一、光と影の關係に興味を有つ様色々と遊び方の工夫 二、日向と日影の溫度等も自覺	影に氣をとられ他の者に突當らぬやう注意
影ばふし	一、朝・晝・午後の影によつて太陽の位置が變つたことを會得 二、太陽の位置に因つて影ばふしの長短が出来ることも自覺	暑い・寒い・暖い・冷たい等の使用する言葉にも注意
影繪あそび	一、光と影の關係に興味を以て遊ぶ中に物の遠近により影に大小濃淡等が出来ることを自覺 二、物の向きによつて影の形が變化するので推理の芽生えを培ふ	影をうつつす場面の選定

(七)雪・氷・霜によるもの

種目	取 扱 ひ の 中 心	備 考
雪合戦	一、雪にぎりして玉を作る 大きき、かたき 二、投げ方、遠くへ、近くへ 三、遊んだ後の體の暖さ	一、雪の握れる時を選ぶ事(濡り氣ある時) 二、しもやけの豫防 三、遊んだ後手足顔等の始末 四、元氣を出して雪合戦に加はること

<p>雪だるま</p> <p>一、大きく作る工夫 二、頭と胴の釣合、目口鼻の位置 三、日中になつて日が當つて来た時の雪のとけ具合</p>	<p>一、雪だるまの作り方指導をすること ロ、器具を使ふ時の方法 ハ、雪だるまを置く位置</p>
<p>雪うさぎ</p> <p>一、兎の形を工夫する 二、目・耳・口・尾の位置</p>	<p>糸の先に木炭をつけるとよく釣れる</p>
<p>雪つり</p> <p>一、どうすればよくつれるか 二、糸の長さ、下す時の力の入れ具合 三、どんな雪が一番つれるか 雪玉の大きさや重さ</p>	<p>草・木・畑などの霜除けするわけ</p>
<p>霜柱</p> <p>一、霜柱の観察、土の軟かい所、土の固い所 二、日中になつた時の様子 三、霜柱を踏んだ時の気分</p>	<p>一、天然氷の保存利用の話 ロ、氷の人造(夏でも作る) ハ、氷は病人に使ふことがある</p>
<p>氷あそび</p> <p>一、氷の出来と家の内外の状況 二、氷の薄い厚いの出来 三、氷の上はよく滑る 水を地上に投げて滑らせる</p>	<p>草・木・畑などの霜除けするわけ</p>
<p>(八)遊具によるもの</p>	
<p>種目</p> <p>取扱ひの中心</p>	<p>備考</p>
<p>シート あそび</p> <p>一、シートに乗つて遊んでゐる中に幼児の體重の輕重・釣合等を自然に知る</p>	<p>遊具を使用して遊んでゐる時には必ず監督者を要する</p>
<p>ブランコ あそび</p> <p>一、漕ぎ方の工夫をする 二、繩の長さによつて動く速さがちがふこと等自然に體得する 三、子供同志數を數へて代り合ひ等しく乗る 四、數觀念を養ふことになる</p>	<p>一、二人乗りは危険なる故禁ずる ロ、あまり漕ぎ過ぎないやう注意する</p>
<p>スベリ臺 あそび</p> <p>一、すべり臺の高底 二、すべり道の長短 三、すべり臺が濕つてゐる時乾いてゐる時のすべり具合</p>	<p>一、階段の上りに注意する ロ、正しい姿勢で滑る様に注意する</p>

(九) 器物によるもの

種目	取扱ひの中心	備考
積木遊び	<p>一、積み方工夫 高く積む、丈夫に積む、面白く積む</p> <p>二、重心の關係</p> <p>三、積木の種類大小・形状・重さ</p>	<p>イ、積み方は面白く工夫すること</p> <p>ロ、器材を亂暴に扱はぬやうにすること</p>
毬つき	<p>一、毬の形と大小</p> <p>二、ごんな毬はよくはすむか</p>	<p>イ、毬を大切に取扱ふこと</p> <p>ロ、ゴム毬の空氣がぬけた場合どうなるか</p>
鳴物遊び	<p>一、樂器の種類と其の音特徴</p> <p>二、樂器でなくとも扱ひ方でよい音が出るもの</p> <p>三、金屬類の音・瀬戸物の音・木片の音・太鼓・弦の音の鑑別</p> <p>四、なるべく良い音を出す工夫</p> <p>五、拍子なとりリズムの正しい把握</p>	<p>イ、鳴物遊びをする中に音に關する興味と理解を起すやうにすること</p> <p>ロ、樂器の性能をこはさぬ様に大切にすること</p> <p>ハ、樂器使用の場合</p> <p>ハ、樂隊遊びと聯絡する</p>
羽根つき	<p>一、よく廻る羽根とよく廻らぬ羽根</p> <p>二、よく廻る様にする工夫</p> <p>三、どうしたら高く上るか</p>	<p>イ、危険のない廣場で羽根つき遊びをすること</p> <p>ロ、羽子板の使ひ方</p>
輪なげ	<p>一、投げ方工夫</p> <p>二、姿勢・輪の持方・目のつけ方</p> <p>三、適當の距離と成績</p> <p>三、入つた數を數へる仕方</p>	<p>イ、使つた後は輪の數を調べ整理し置くこと</p> <p>ロ、先を争はず順番を待つこと</p>
蟲めがね遊び	<p>一、どの位に目から離したら一番よく見えるか</p> <p>二、眼に近くよせて見た時段々離して見た時</p> <p>三、太陽の直射光線を集める事の工夫</p> <p>四、黒と白とどつちの紙が一番よく焼けるか</p>	<p>イ、紙屑を散らさぬ様にすること</p> <p>ロ、作りたる焦點にて衣類などがさぬこと</p>
鏡遊び	<p>一、鏡に物をうつすこと</p> <p>二、顔・手・花・他の人・物等</p> <p>三、鏡を顔から遠く離した時</p> <p>三、太陽の直射光を反射させる</p>	<p>イ、鏡はこはさぬ様に取扱ふこと</p> <p>ロ、平面鏡を良く拭き置くこと</p> <p>ハ、凹凸面鏡等も使用せば興味あり</p>

<p>磁石遊び</p>	<p>一、どんなものが吸ひ付いたか 二、磁石のどこに吸ひ付いたか又その吸ひ付く様子 三、砂場で砂鐵を探してそれだけで遊ぶ</p>
<p>(だるま)</p>	<p>(一)磁石で踊らせて遊ぶ (二)どうして起き上がるか</p>
<p>(金魚つり)</p>	<p>紙で作った金魚に針金や釘をつけて釣竿につけた磁石で金魚釣りの競争をする</p>

(一〇)其他によるもの

種目	取 扱 び の 中 心	備 考
<p>摩擦遊び</p>	<p>一、摩擦によつて熱が起ること 手や顔を磨ること、机上を磨ること、マッチはこの應用(冷水摩擦・乾布摩擦の話) 二、摩擦によつて電氣が起り物を吸ひ付くる場合</p>	<p>イ、手・顔・足等を摩擦させる ロ、机上を強く摩擦する事 ハ、ゴム櫛・エボナイト等手近な物を以て實地にやつて見せる 机上の洋紙をこすれば吸付く</p>
<p>相撲遊び</p>	<p>一、どんな場合に倒れるか 二、倒れない工夫 (重心を失はせない様に工夫する)</p>	<p>ホール紙・畫用紙・古ハガキ等を使つて作る クレオン・色鉛筆にて彩色する</p>
<p>こままはし</p>	<p>一、心棒の位置(重心) 二、廻る時の色 三、廻し方の工夫</p>	<p>ホール紙・畫用紙・古ハガキ・ヒゴ竹・ヤウシ等を使つて作る、彩色する</p>
<p>やじろべ</p>	<p>倒れない様にする工夫 (重心を自覺させる)</p>	<p>ホール紙・畫用紙・古ハガキ・ヒゴ竹を使つて作る</p>
<p>電話ごっこ</p>	<p>一、音波の振動(パラフィン紙がビリ〜となる) 二、糸を傳はつて来る聲 三、聲の傳はり方、筒のある時、筒のない時</p>	<p>材料 竹筒又はホール紙筒・パラフィン紙・絲</p>

<p>あぶり出</p> <p>し</p>	<p>一、あぶると段々ものが現はれる</p> <p>二、薬品の附いた部分と附けない部分</p>	<p>一、紙・明礬を材料とす</p> <p>ロ、火鉢の取扱ひに注意すること</p>
<p>はかり遊</p> <p>び</p>	<p>一、重量によるもの</p> <p>1、重さの比較</p> <p>2、分量と重さとの関係</p> <p>3、数概念の養成</p> <p>二、容積によるもの</p> <p>1、液體は器によつて形が變る</p> <p>2、器の大小によつて容積が異なる</p>	<p>イ、砂・土・粘土・玩具等にて實驗觀察</p> <p>ロ、水・色水等にて實驗觀察</p> <p>ハ、シューソー遊びと聯絡すること</p> <p>ニ、後始末に注意すること</p>

本稿は東京市保育研究会觀察部委員が東京市より命ぜられて研究、昨年十二月發表したものである。

一八頁より)

様態しなければなりませんのであります。習慣等は一夜にして完成するものではありません。毎日々々、その時その時に注意し根氣よくしてこそ、完成するものです。さうしてもなほならないとあきらめる時に、もう一度ミ振ひ立つてみませう。完成は目の前です。立派な躰けをして、心身共に健全に發達せしめ、將來立派に御役にたつ日本人になる様保育する事こそ私共の使命であります。以上数々の躰けの要項を列擧しましたが、何れも諸姉の既に御實行の事のみ

と思ひます。躰けくミ呼ばりながら、自らも又環境もそれに反していたならば、お膳立の無いお食事と同じで、決して好い躰けは出来ません。それゆゑこの數行によつて、反省をうながせるならば何よりミおもつてをります。

【誌上講習】 幼児の生理(二)は都合により休載

編輯部